

こんにちは、こんばんは、またはおはようございます。天地成行です。実はわたくし、三月にライセンスでした。タライシスというのは、簡単にいうと「人生詰んだ！」というものです。詳しいは三面に書いてございます。これからの「みんなつど」は、「みんなつど」でアクセスが多いものを紙面で再編集してお届けいたします。個人的作業の負担軽減（働き方改革？）。「ご了承くださいませ。一面は、山口県光市室積の「福祉メイキングスタジオうみべ」行。二面は読み物です。どうぞ。」

※この文かなり妄想含みます。

てんちくん「うっ、うう。あ、あれが足りねえ。あれを飲まないと……」

てんちくんは、春の陽気に誘われて、最寄りのJRの駅へ行きました。鼻を嗅ぎます。上り電車に乗るか、下りに乗るか。アレはドチラにあるのだろうか。

「ほけきよ」。ウグイスが上りを示す。そう、光が指し示す方へ。光駅へ。

「ごんごんごんごんごんごんごん」。 (電車到着)

光駅着。引き込まれるように室積公園口行きのバスへ体を滑り込ませる。

アレは、あそこには違いない。まあ、あそこに行くしかない、ワンパターンなのだけれど、なんてことは思っていないかった。きょうにかぎっては、あれに出会いに行くのだ。

「びんよーびんよー」。室積のトンビがこれからはナビになっている。

たどり着いたのは「福祉メイキング

共生型の多機能施設でセイカクヨクナール？

スタジオうみべ」。また新たなグッズがどしどし売られている。ファッシュブランドを立ち上げて、パーカーが売れ筋らしい。動画制作にも力を入れ始めている。不要なプラスチックに価値創造するアップサイクルにも取り組み、癒しの場としても変わらない居心地の良さをのぞかせている。

居心地の良さに「ほっほっほ」

hana-taboさんが、まこちゃんが俺を歓迎する。看板タレント「海辺のオカ

ああ、そうそう、実はこれを探していたのさ！



作家で利用者のhana-taboさんが、作業の合間にシャボン玉を飛ばす。空に一筋の雲が（光市室積にて）

「セイカクヨクナール」効能に「とにかくほめたくなる」ってある。もう効いてしまっていたぜ！まあ、とにかく「うみべ」で室積の潮風をたっぷり浴びて、帰りに駅で電車が来るまで陽射しが気持ちよくて帰宅した春の一日であった。

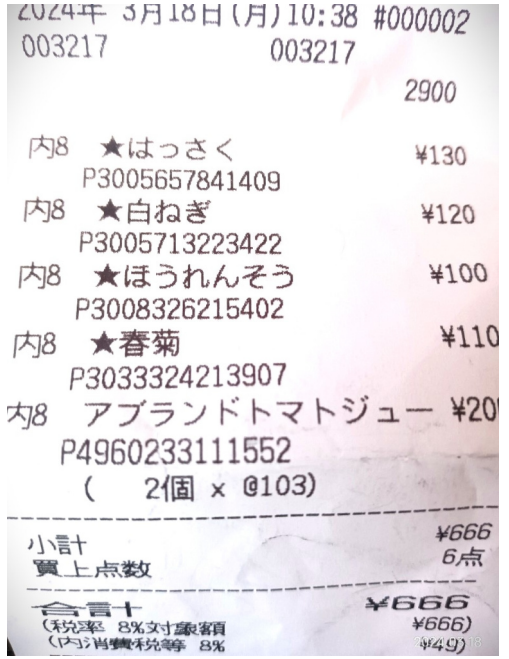


福祉メイキングスタジオうみべへのアクセス
ライニングクハーク光を目安にとこと
行き方①JR山陽本線光駅から20分（バスで室積方面行き） ↓（「室積公園口」バス停から徒歩約15分） ②山陽自動車道熊毛ICから25分

タレント（利用者）がたんとたんとたんと

ここではB型作業所部分のタレント（利用者）さんについて。「海辺のオカピー」さんは、絵を描いていたが、現在はOJIさんと「さんぽ」を仕事にしている。ほかに「まこちゃん」は、周防大島のミカンとコラボした「まこびかん」のキャラクター。ほかにもあらたなタレントさんが、活躍中。ものづくりやSNSでの活動が盛んである。

スーパーにて



ゆるゆるの会話を二篇どうぞ

「何をしにスーパーに？」
てんちくん「えっと、春
きやべつがないなら、なら
ホウレンソウと、はっさく
と、んとんとあととはちがう

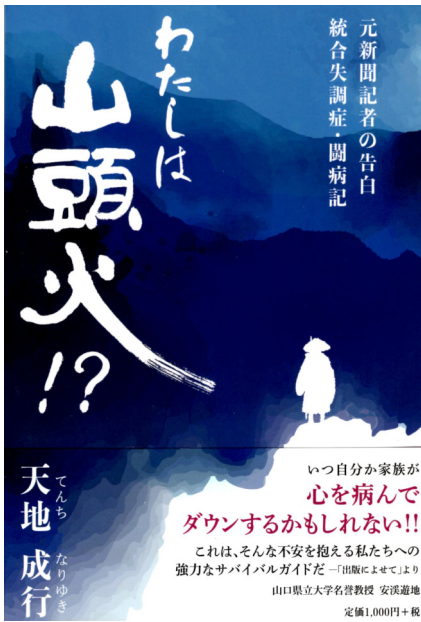
※イラストの看護師とアーティストの”
二刀流”池見陽子さんのホームページ
を見たい方は「池見陽子」と検索され
たら出てきますよ。

「何をしにスーパーに？」

てんちくん「次回大当たりしにきま
す」

とこいくか」
(レジへ)
てんいんさん「(びっぴっ
び) 666円になります」
てんちくん「はい。あつ、
フィーバーですね(笑)」
てんいんさん「ああ、並
びましたね！」
てんちくん「うれしいけ
ど、777じゃないと確率
変動でないんだよね」
てんいんさん「えっ？
またお待ちしてます」

峠のたばこ屋で



最近の、てんちくんはなやんでいる。
それは……本が思った以上に売れない
時代だっつて。良い本だと言つて買って
くれるひともいらつしやる。
とてもうれしい。だけど、生活楽にな
ることなし。

「このたばこ」
おばちゃん「なはなは。人生には笑
いが必要なのよ」
てんちくん「おばちゃん。わしの
出す本がうれませせん。おばちゃんなら
100部くらいすぐ売つてくれそう。
助けて〜」

「峠のたばこ屋でベストセラー企む」

てんちくん「おばちゃん、セブン
スターくだけいな」

おばちゃん「あいよ。600万円も
しくは600万ドル」
てんちくん「あいかわらず高いよね、

聞記者と発達障害の元新聞記者がお互
いを取材してみた。』はロゼッタストー
ン。電話 0833 (57) 5254

個人的には、この二作の装丁がもの
すごく気に入っています。山口県の出
版社の底力を感じます。今後の県内の
出版界が明るい未来でありますよう！

処女作の俳句エッ
セイでくすつとし
ちやう統合失調症
闘病記の『わたし
は山頭火!?!』は
くるとん出版、電
話 0827 (8
1) 1551。
二作目の大橋広
宣さんとの対談本
『精神疾患の元新
聞記者と発達障害の元新聞記者がお互
いを取材してみた。』はロゼッタストー
ン。電話 0833 (57) 5254

脚本家・映画監督 足立紳氏絶賛!
(NHK連続テレビ小説「ブギウギ」脚本・映画「百円の恋」脚本他)
「お二人の対談は爆笑しながら優しい気持ちになれる。
リズベクト・トレーニングもいいけれど、
この本を読めば必ずや他人と自分に優しくなるはず!
なんなら道徳の教科書にしてほしい!」

おばちゃん「よっ
しゃー。ならここ
に置いてあげよう。
その漬物の横に。
そら売れるでー。
一年に一冊くらい。
なんちゃって」
てんちくん「ま
た来ます」

